

### 夏のカラフルリーフ展

斑入り植物や様々な色の葉を持つカラーリーフ植物を、和風/洋風/利用場所に応じて紹介。葉の美しい食虫植物も次展示に先駆け紹介しております。

【展示温室にて7月18日まで】

### 夏咲きの洋ラン

(ラン科)

洋ランと言えば年末年始の寒い時期に種類が豊富ですが、<sup>はざかいき</sup>端境期に咲く夏咲きのツニアやデンドロビウム、フォルミディブルが花盛りです。

### 大温室改修のため休館中

リニューアルオープン  
は平成29年秋ごろです。  
(予定)

### ナツツバキ

(ツバキ科)

蒸し暑さが増す中、  
白く清涼感漂う小花が  
咲いています。

### アサガオのカーテン (ヒルガオ科)

2005年～展示資料館にグリーンカーテンを育成中。5月2日に誘引を始め、最上部まであと一息でたどり着きます。

ノアサガオの1品種‘オーシャンブルー’で、結実はめったにせず地上に伸びた茎を使った茎伏せで増やせます。

### アジサイ (ユキノシタ科)

ハナショウブとヤマアジサイの花が終わり、すっかり静かになりつつある日本庭園です。が、うらら池側正面には満開のアナベル、日本庭園入口にはガクアジサイや園芸アジサイ、カエデ園入口を過ぎた池畔にはカシワバアジサイの仲間が人の背丈を越えんがばかりに大きくなり、まだまだ花盛りです。

### アスクルス

パルヴィフロラ (トチノキ科)

斜面を白く霞がかかるが如く群れ咲いております。花卉が退化してほとんど白い雄しべで構成され、先端の葯が紅一点、よく目立ちます。

### ネムノキ (マメ科)

中央アジアから中国・朝鮮半島、本州四国九州にかけて分布し、夜になると葉が閉じることから名が付けられています。中国においては夫婦円満の象徴とされています。

### 八重クチナシ

(アカネ科)

近くのクチナシ(一重)の花と共に、八重咲きが甘い香りを漂わせています。咲き始めの純白色から次第にクリーム色へ咲き進みます。

### アガパンサス

(ユリ科)

梅雨の蒸し暑い中、花の<sup>はざかいき</sup>端境期となるこの時期に涼しげな薄紫の花が見頃を迎えています。この仲間には‘ムラサキクンシラン’と名づけられたものもあります。

### ヘメロカリスの園芸品種

(ユリ科)

日本原産のユウスゲやカンゾウの仲間。主に欧米で改良され、豪華で色とりどりの品種があり、一日花ですが、次々と咲いていきます。かつては当園でも展示会を開催していたほど。当園のコレクションをお楽しみください。

